



片づけを考える

〇 習い事感覚で片づけを知っていく

春の気配を夜の花の香りで感じられる季節になりました。この時期は桃始笑（ももはじめてさく）の候です。桃が「笑う」柔らかな季節です。皆さま、いかがお過ごしですか？

春は、何かしら新しいことを始めたくくなりますね。「片づけ」も習い事をするような感覚で定期的に少し長いスパンで関わっていくのもいいと思います。

今や、皆さんは片づけの情報をたくさん持っています。ですが、皆さんの持っている情報からの知識は、大きくは間違っていないかもしれませんが、大事な部分が抜けていたり、偏った情報だけを持っていたりすることも多くあります。

春からは、片づけを「ただ情報を集める」から「色々な形で習ってみる」という様な感覚に切り替えてみるのはいかがでしょうか。少し時間はかかりますが、そこから新しいことがわかったり、今までやり方を納得できたりすることがムダのない効率よい片づけにつながっていくと思います。

長い時間をかけて取り組んでいく時に「モノには必ず定位置を作る」この片づけの根幹をなす考えをいつもしっかり持っている様にすると片づけが中途半端になりません。片づけが進んでいくうちには、迷いや疑問が生じて来る時もあります。その様な時にも必ず、ここに立ち戻る様にします。

モノ全てに定位置を考えるのは大掛かり、と感じるならば、モノの数が少ないほうが定位置決めも簡単と考えていきます。また、本来そのモノの定位置にしたい場所を他のモノが占領している場合なども、ベストな定位置を作ることを優先して他のモノを減らすこと、または移動することなどで解決していきます。

と同時に、限られたモノの収納場所をいかに上手に使うか、も気にかけていきます。モノの分け方、グッズなどの使い方などは、色々な家のパターンを数多く見て、その中で自分の暮らし方にあったやり方、選び方などを真似をしていくほうが効率的です。

気をつけていただくことは、最初から全てを真似しないことです。SNS などに出ている家はとてもレベルの高い家ですから、いきなりでは無理が生じます。片づけに挫折しないためにも、アイデアなどは少しずつ取り入れていく様にしてください。

いつも片づけのことだけを考えるとはられませんけれど、いつもどこかで意識しているとどんどん力がついてきます。焦らず、むしろ長いスパンで考えることが大切なのです。頑張りましょ！



朱夏らいつ

森 由香（もり ゆか）

- 整理収納コンサルタント
- 整理収納アドバイザー認定講座講師
- 企業内整理収納マネージャー
- 整理収納教育士
- ファイリングデザイナー(1級)
- 整理収納アドバイザー
- ルームスタイリスト(1級)



出張セミナーのご案内

- 一般向け 「ポイントを知って始める基本の整理収納」
「シニア世代の家の片づけ方」
「捨てられない人の整理術」
- PTA 研修 「片づけ上手な子にする為にお母さんが知る整理収納」
- 企業研修 「5S から考える職場の整理収納」他

整理収納全般のテーマでお受けします。
内容、ご予算等お気軽にご相談ください。

〇資格取得講座＜整理収納アドバイザー2級認定講座＞
ご希望日をお知らせください



モノを減らすお手伝いをします

ご自宅やご実家のモノが多くて、片づけが始まらない方にモノを減らすことをメインにした片づけのお手伝いをします。

ぜひ、モノの手放し方のコツをつかんでください。簡単な収納アドバイスも致します。(セミナー受講生徒さん、紹介の方、誕生日、母の日、父の日ギフトに使われる方、料金割引サービス致します)

※作業は2名で致します。1時間 4,500円～ 詳細はお問い合わせください

〈朱夏らいつ〉

中国の五行説では、青い春（青春）の次に来る季節は朱い夏（朱夏）です。〈朱夏らいつ〉のネーミングには、人生の朱い夏を頑張る皆さんとその暮らし、そして自分を応援する意味が込められています。

発行日：2020年3月1日（日）No.37
 編集&発行：朱夏らいつ 森 由香
 HP：<http://shukalife.com>
 E-mail：info@shukalife.com
 phone：080-5387-7115

2020年3月発行 第38号



朱夏（しゅか）通信（38）

季刊 朱夏らいつ

生徒さんのちょっといい話

ここではセミナーでの生徒さんからの話を紹介しています。

〈春日部市 Tさん 60代女性〉

「旅行に行くと、記念に自分に何かお土産を買ってくるのが習慣になっていましたが、とりあえず買ってきたモノなど、そのお土産をあまり大切に思うこともありませんでした。講習を受けてから、旅先でも欲しいモノ以外のお土産は買わないようになりました。」

〈春日部市 Hさん 70代女性〉

「旅行先で、撮った写真がたくさんあります。枚数を減らしたかったので、夫と旅の思い出話をしながら少しずつ整理しました。同じ様な写真は処分して厳選した写真だけを残していつでも見られる場所に置いたので、ちょこちょこ見る楽しみも味わっています」

習慣を見直した Tさん、お土産の買い方が変わりました。Hさんの写真整理は、写真が、その瞬間を甦らせるという本来の役目も果たせてあげられました。旅の思い出、それぞれの関わり方に拍手です👏

ムダ家事が消える生活

本の紹介

「やってもやっても終わらない」をもうやめるための暮らしのコツや家事のムダを消すヒントが満載です。片づけを含め5つのCHAPTERに分かれています。1ページで1ヒントなのでどのページからでも始められます。

著者：本間 朝子 定価：1250円(税込)

ブログでも本の紹介をしています。
朱夏と LIFEのお片づけ日記→<https://ameblo.jp/shukalife>



〇講座のご案内

～コープカルチャー～

〈ポイントを学んで楽々お片づけ〉

毎月第2木曜日 10:30～12:00 コーププラザ富士見

〈ママから子どもに伝える片づけ上手の技〉

- 4/9 (木) 13:00～14:30 コーププラザ富士見
- 4/13 (月) 10:30～12:00 コーププラザ川越
- 4/21 (火) 10:30～12:00 コーププラザ大宮
- 4/23 (木) 10:30～12:00 コーププラザ浦和
- 4/24 (金) 10:30～12:00 コーププラザ春日部

～春日部市生涯学習市民塾(前期)～

〈モノの減らし方～本当の「もったいない」を知ろう～〉

詳細は、広報かすかべ5月号をご覧ください



朱夏と日和

～ひとりごと片づけ日記～



誕生日に友人からプレゼントが届いた(^.^)v Rorstrand (スウェーデンの陶器メーカー)のボウルのセットでとても素敵。

メッセージカードには、「お誕生日おめでとう」の言葉とともに「収納に1番困る物を選んでしまいました。ごめんなさい。メルカリして～」と書いてある。

この友人とは好きなテイストが同じ。私が食器好きなこともちゃんと知っている。だから、彼女の選ぶモノは私の好みにドンピシャで合う。

「素敵～♡ メリカリなんてしないよ。すぐ使うね」とラインをしたけれど、「いいの～？」とちょっと恐縮している様子(^.^)

仕事柄、「いらぬモノはもらいたくない」のイメージが強すぎるのね…。そんなことはないの。私のために選んでくれたモノは、必ず私の「こだわり」や「好き」が入っているから「いらぬモノ」にはならない。

私がプレゼントを用意する時にも、相手の好みかわからない時はその人のイメージで花をアレンジしてもらおうこともあるけれども、好みをよく知っている人には何かモノを選ぶこともあるくらい。

先日も素敵なお花のアレンジが届いて、私に何かをくださる方々には、いつも品選びで苦勞をおかけしているのね。とふと思った。許して～。

整理収納 Q & A

- Q 処分したほうが良いとわかっているモノもいざとなると、処分できません。捨てられないタイプなのかと心配になります。
- A 持っているモノを捨てることは、大抵の人にとっては苦手なことです。モノに対する考え方が変わると上手に捨てられるようになりますが、短期間で考え方を变えるのも難しいですね。

この様な時は、もらったモノや安かったモノなどで捨てる練習をすることです。どんなモノにでも納得できる処分の理由を考えます。この理由づけが明確にできる様になると捨てる力がついてきて、だんだんと捨てられなかったモノの処分ができる様になります。捨てることも、まずは練習からです。Fightです。

収納のコツ

使う目的によってモノをまとめる収納法をグループ別収納といいます。グループは「種類別」や「使う人別」で決めることもできます。



収納グッズもハードなタイプのモノは、安定感があり使いやすいですが、目線より上の位置で使う時には、重く、落としてしまった時には危険が伴います。高い場所で使うモノには、ある程度の強度がある柔らかい素材のモノを選ぶと扱いが楽です。お子さんが扱うにも安心です。

グッズの紹介

(収納のコツ写真)



無印良品
柔らかポリエチレンケース (ハーフ)

価格 690円(税込)
サイズ幅 18×25.5×16cm



柔らかポリエチレンケースは丸形、トレー型、フタなどの形また、深型などのサイズも色々揃っています

「モノを処分」ってどういうこと？

モノの処分の仕方は、大きく分けて5つの方法があります。

- 捨てる
- リサイクルに出す
- リメイクする (モノの一部を使うことも含む)
- 譲る (売る)
- 持ち主に返す

どの形の処分なら納得できる手放し方かを考えます。また、その形の処分にどのくらいの手間をかけられるか、ということも考えておかなければ、いつまでも片づきません。できるだけ早く処分できることもポイントにしながらモノの行く末を決めていくといいですね。